

科目区分	専門分野			科目番号	0605	曜日時間	不定期	
授業科目	基礎看護技術Ⅱ							
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次前期	授業形態	講義・演習	
担当教員	岡原 幸代・長谷川 ゆかり							
授業目的	日常生活の援助の視点を学び、日常生活の援助方法について学ぶ。							
中核	生活援助技術（環境・活動と休息）							
授業目標	1. 生活環境と健康に関する看護の意義が理解できる。 2. 病室内環境を理解し、環境調整を実施できる。 3. 日常生活活動に関する看護の意義を理解できる。 4. 体位・姿勢と移動の工夫に関する看護の意義が理解できる。 5. 「移動動作」と「体位変換」の援助法を、ボディメカニクスを考慮しながら実施できる。							
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考			
	1	環境の意義、療養生活の環境	講義	2	岡原	授業終了後、リフレクションシート提出		
	2	病室環境のアセスメントと調整	講義	2				
	3	ベッド周囲の環境調整	講義	2				
	4	ベッドメイキング、環境調整	演習 (必修)	4				
	5	ベッドメイキング、環境調整						
	6	ベッドメイキング、環境調整デモンストレーションとまとめ	講義	2				
実務歴有	看護師・保健師：地域包括支援等勤務6年 看護教員：学校勤務6年							
講義への反映	臨床場面から実際の看護技術の目的・意義を実感できる講義を展開する							
授業の内容と方法	7	基本的活動の基礎知識 姿勢・活動の意義と効果 活動と運動・姿勢の種類と特徴	講義	2	長谷川		授業終了後、リフレクションシート提出	
	8	安楽な体位・体位変換の実際	演習	2				
	9	水平移動、仰臥位から長座位、長座位から端座位	演習	2				
	10	車いすへの移乗・移動	講義	2				
	11	車いすへの移乗・移動	演習 (必修)	4				
	12	車いすへの移乗・移動						
	13	車いすへの移乗・移動デモンストレーションとまとめ	講義	2				
	14	睡眠・休息の意義と援助、褥法の方法	講義	2				
15	褥法とポジショニングの実際、まとめ	演習	2					
実務歴有	看護師：20年 看護教員：学校勤務2年							
講義への反映	臨床場面から実際の看護技術の目的・意義を実感できる講義を展開する							
テキスト参考図書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 【電子版】医学書院 看護がみえるvol.1 基礎看護技術 第1版、メディックメディア 看護覚え書 フローレンスナイチンゲール							
実務歴有	看護師：病院勤務 20年 看護教員：学校勤務 2年							
講義への反映	臨床場面から実際の看護技術の目的・意義を実感できる講義を展開する							
備考	授業前にテキストにて事前学習を行い、授業後にはリフレクションを行う。 テキストを用いながら技術練習を行う。技術の習得ができるまで反復練習を要する。							